

ENGLAND

ICSに3ヶ月の社会人留学

根岸 幸



ICS校にて

英国留学を決めたのは、飛ぶ一ヶ月前。寝言の様に言っていた、夢の様な留学がミッキーの一言で、一ヶ月先の予定に変わった。留学をしたかった自分だが、行き先はドイツ語圏だと思っていた。習いたい演出家がドイツ人だったからだ。そんな彼が言った。「ドイツ語よりも、英語をやれ。」と。英語が出来ない事への不安は驚くほど無かった。勉強していないことが出来るわけがないという開き直りからか、生まれ持った図々しさから…。勉強する間も無く、海を越えた。最初は何一つ分からなかった。クラスの中で綺麗な英語を喋るのは先生だけ、クラスメートはその母國の訛りを持って喋る。自分も、その一人だったのだろう。通じない時は何度も言い、聞き取れない時は聞き返す。分からない事に頷いて、理解したように考えた振りをするのは三日で止めた。分からない事は分からないと言い、授業の流れを止めることに、「こんなのも分からないの?」と思われる事など無視して聞いた。先生が私でも分かるような英語で話してくれたのは嬉しかった。彼は決して私が分からない単語をズラズラ並べたりすることは無かった。



ICS校の先生と

知っていると便利な英語マナー

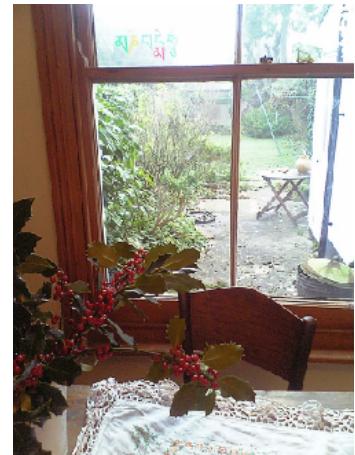
紹介の順序

1. 女性に男性を 2. 年長者に年少者を
 3. 目上の人には目下の人を
 4. 先輩に後輩を 5. 既婚者に未婚者を。
- 例えば、50歳の未婚男性に20歳の既婚女性を紹介するときは、この様な一般原則を外し、性別は気にせず、2と3を基準にするのが適当。

ENGLAND

40代にして1ヶ月英国ホームステイに飛び立つ

山中みづえ



庭の鳥を見ながら
朝食を食べていたテーブル

転職が決まり、ぽかんと空いた1ヶ月。憧れだったイギリスにホームステイしよう、とミッキーに相談してから日本を出国するまで、わずか2週間でした。準備はミッキーのおかげで順調に進み、またノーリッチの英語学校ICSは、ヘレン校長が人格的にすばらしい方と聞いていたので全く心配はなかったのですが、なにせ40代半ばの初めての海外ホームステイ。外国人にPRできる特技なし、料理ダメ、英語初心者のハンディを背負ってのイギリス入りでした。行ってみてびっくり、英語の聞き取れなさは想像以上。愕然としました。でもそれを救ってくれたのはICSの先生たち。私の英語レベルのちょっと上くらいに合わせてくれるワザはさすがでした。この私でも、リチャード先生の話す英語がわかるし、話せるし、外国から来た生徒たちとお互い理解しあうことさえできる授業だったのです。毎日の授業が楽しみになり



ICS校のヒラリー先生と

ジョーク

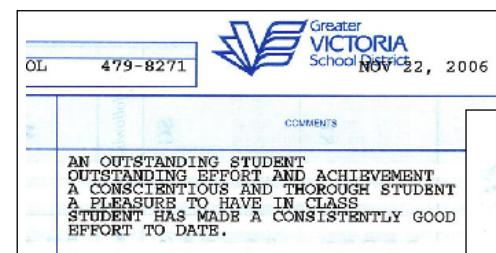
professional

- a) He's a professional. (彼はプロだ)
- b) She's a professional. (彼女はプロだ)
- a) ではHeが医者か弁護士を意味するが、b)ではその可能性はなく、彼女は売春婦であると言う事である。この様な曖昧さを心配する場合は He's / She's a professional lawyerとか具体的な職業名をつけるべし。

CANADA

ビクトリア市立スペクトラム高校校長賞 成績優秀賞を受賞

江原 悠



校長賞



成績表

冬休みが明け、一学期最後にあるプロビンシャルテストに向けて学校は準備に入っています。そうですねえ、honour rollに名前が載ったのはなんでなんでしょう。苦労はしましたが、単純なことしかしていません。言ってみれば、頑固、生真面目、完璧主義などから来るものではないでしょうか。要するに、僕の性格だと思います。学校生活が不安だからこそ、完璧主義のままでいた方が良いと思いました。今もそう思っているのかもしれないけど、最近は怠けています。僕がやったことは、宿題を提出日に提出し、プロジェクトを終わらせ、課題を終わらせただけです。わからないことがあれば、知っている人にきました。Honour rollに載るための定義の様な物は、基準の成績を取るだけなので、単純なのです。9月、まだ慣れない中、これから先やっていくのかどうか自問したとき、just do itとしか思いませんでした。だめだと思ってやめたら、状況は悪くなります。やるしか他にないのです。引き返せないわけですから。僕の状況は崖っぷちなのかも